

科目名	心理測定法					授業の種類	演習	必修・選択		必修	
授業回数	15	回	時間数	30	時間	2	単位	配当学年時期		2年	後期
【授業の目的・ねらい】 人間の心理的側面を科学的な方法を用いて測定するための理論と測定法を学ぶ。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 臨床現場で実施する心理検査を行うための、心理測定の重要性を学び、心理測定法の手技の理論と適用を理解する。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士として必要な心理測定法事項を理解し説明できる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	心理学における研究法										
2	心理測定とは何か										
3	測定の基礎										
4	精神物理学的測定法について理解できる。										
5	パーソナリティテストの理論を理解できる										
6	パーソナリティテストの実際について理解できる。										
7	尺度の作成を行うことができる。										
8	テストの信頼性と妥当性について理解できる。										
9	因子分析と共分散構造分析について理解できる。										
10	一対比較法を理解できる。										
11	比較尺度構成法を理解できる。										
12	多次元尺度構成法について理解できる。										
13	様々な調査法とその実際について理解できる。										
14	心理測定の進歩について理解できる。										
15	総まとめ 復習を通して基礎知識を整理し、理解できる。										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料、言語聴覚士テキスト											
【準備学習・時間外学習】 あらかじめ教科書に目を通しておくこと。また復習を行うこと。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											